

第 76 回国民体育大会神奈川県予選会 開催要項

1. 名 称 : 第 76 回国民体育大会神奈川県予選会
2. 主 催 : 神奈川県アイスホッケー連盟
3. 主 管 : 競技委員会
4. 大 会 役 員 :
- | | | |
|------------------------|---|-----------------------------------|
| 会 長 | 藤木 幸太 | 江守 永 |
| 大 会 委 員 長 | 金子 精司 | 天明 太郎 |
| 競 技 委 員 長 | 内田 貴典 | 松田 圭介 |
| 大 会 役 員 | 石山 卓男 伊藤 一 猪俣 信行 岩崎 伸一
鍵和田 和明 柏木 満 菊地 拓海 佐々木 晓
中島 透 西村 三雄 長谷川 宜彦 畑中 和幸
水原 健司 宮本 淳平 吉田 見登留 飯田 松男 | |
| レフェリー委員長 | 佐々木 晓 | |
| レフェリー団 | 有田 典生 安藤 仁詩 石山 卓男 奥山 美紀
鎌田 司 河久保 昌利 桑田 仁衣奈 近藤 健一
立花 勝彦 戸高 英明 中島 透 中村 秀岳
長谷川 宜彦 畑田 進 畑中 和幸 山本 秀彦
吉田 見登留 | 鍵和田 和明
下山 浩二
橋本 昌伸
吉田 俊一 |
| | 他、レフェリー連絡員、日ア連公認レフェリー | |
| 大 会 医 師
救 急 指 定 病 院 | 江守 永(県連医事委員長)、三辺 武幸(県連医事副委員長)
重傷の場合は 119 番すること
軽傷の場合:(24 時間受付・年中無休)
横浜市救急医療センター TEL #7119(又は 045-222-7119) | |

9. 参 加 チ 一 ム :
- 【A pool】 チームハセガワ B、Mavericks、ケッターズ、ハマクラブ A、JINXS、NEC-A、神奈川メープルリーフ A、神奈川 RED BULLETS、
- 【B pool】 -
- 県連審議委員会による出場停止処分：無し
10. 大 会 形 式
- 【A pool】 第 75 回国体県予選会の結果により入れ替えた、A pool 8 チームを 2 組に分け、4 チームのリーグ戦を行う。それぞれの組の 1 位同士で優勝決定戦を行う。今回国体予選会の結果による B-pool との入れ替えは行わない。
各組の分け方は前回大会の結果により、A group:1・4・5・8 位と B group:2・3・6・7 位とする。
- 【B pool】 -
11. 参 加 費 :
- | | |
|--------|----------|
| A pool | ¥120,700 |
|--------|----------|
- 上記参加費を下記口座へ 9 月 21 日までに振り込むこと。なお、期日までに入金確認の取れないチームは出場を認めないとし、県連審議委員会により処分を科する。
- 振 込 先 横浜銀行 本店営業部 普通口座 6097936
神奈川県アイスホッケー連盟 会計 長谷川 宜彦
12. 競 技 規 則 : 神奈川県アイスホッケー選手権の定めるローカル・ルールを除いては原則として IIHF 公式規則で行う。
- 補助規則（ローカル・ルール）：
- a. 連盟未登録選手が出場した場合は、その試合に限り没収試合とし、そのチームは不戦敗(スコアは 0 対 15)とする。
この場合、審議委員会により罰則を科す。
 - b. 出場資格があるにも拘らずオールメンバー表に記載されていない選手が出場した場合、関係した得点は無効とする。ペナルティは課さない。当該選手は残り時間出場できない。
 - c. ベンチには、ゴールテンダー 2 名・スケーター 20 名の計 22 名、役員 6 名迄入ることができる。
 - d. IIHF ルール第 21 条に基づき、試合開始整列時に 1 名のゴールテンダーと 5 名のスケーター、役員 1 名を最低人数とし、これに満たないチームは試合放棄とみなし不戦敗(スコアは 0-15)とする。
また試合中にけがやペナルティなどで、正規の人数(3 名のスケーター)をリンク上にそろえることができなくなったチームはその時点で試合放棄とする。
 - e. ユニホームを着用しない役員名を当該試合のメンバー表に記載し、試合開始から終了までの間、常時ベンチ入りさせること。
 - f. A pool ベンチは試合日程表の左側チームが本部席より見て左側とし、ホームチームとする。
 - g. 1974 年 12 月 31 日より後に生まれた選手はフェイスケージまたはバイザーかフルバイザーを着用し、マウスガードを使用しなければならない。バイザーは、目及び鼻が全て覆われるものでなければならない。(IIHF ルール第 31 条)
該当選手は、「V」の表示をプログラムに明記する。
バイザーは無色透明なものとし、それ以外は使用出来ない。
マウスガードは氷上に落ちたとき目立つカラーリングを施したものを使用すること。
 - h. 大会開始日に 18 歳以下のすべてのプレーヤーは、パックもスティックのブレードも貫通できないように作られたフェイスケージ及び首とのどのプロテクターを着用しなくてはならない。(IIHF ルール第 31・35 条)
該当選手は、「F」の表示をプログラムに明記する。
危険な用具を着用している選手は試合に出場できない。
 - i.

- j. 選手は背中に加え、両袖にも番号(概ね高さ 10cm)がついたジャージを着用しなければならない。(IIHF ルール第 40 条)
- K. 血液感染予防のため、各チーム予備のユニホームを用意する事が望まれる。ユニホームの色が同系色で、ペナルティのコールを誤る可能性があるとレフェリーが判断した場合、レフェリーの指示に従い、本部席より見て右側のチームがベストを着用する。
- m. 3 回目のペナルティを犯した選手はその試合の残り時間をゲームアウトとする。(ゲームシートには「OTHER」と記載し、20 分のペナルティを加算する)ペナルティのカウントは、以下のとおりとする。
 - ①INTRF、HOOK、TRIP、SLASHなどの単独のマイナー(2 分)は、それぞれカウント 1。
 - ②HI-ST(2+2 分)、キーパーチャージ CHARG(2+2 分)、ROUGH(2+2 分)などのダブルマイナーは、カウント 2。
 - ③CHE-B、CHE-Hなどのマイナー+自動的な MISC(2+10 分)は、カウント 1。
(MISC の 10 分は自動的に付加されるものだから)
 - ④ABUSE、UN-SP などの MISC(10 分)は、カウント 1。
 - ⑤ベンチマイナーはカウントしない。(PB に入る履行者は本人のペナルティではないため)
- n. ヘルメットは、ヘルメットの下端と眉毛との間に指 1 本分以上のゆとりがないように着用しなければならない。また、あごひもとあごの間のゆとりも、指 1 本分のみとする。(IIHF ルール第 34 条)
- o. 氷上にいるキャプテン、2 名以内のキャプテン代行のみが、ルール解釈に関する問題について、レフェリーと話をすることができる。
キャプテンまたはキャプテン代行が氷上にいない場合、いずれもレフェリーからの要請がない限り、レフェリーと討議するためにベンチから氷上に出ることはできない。(IIHF ルール第 28 条)

13. 競技時間 :
- a. 練習 5 分、各ピリオド正味 15 分、インターバル 3 分で行う。ただし、貸し切り時間内に試合終了しない事が予想される場合は、SV の判断により第 3 ピリオドの試合時間をロス込みにする場合がある。第 3 ピリオド終了時同点の場合は引き分けとする。
 - b. タイムアウトは A pool :優勝決定戦のみ有り、その他はなしとする。
 - c. オールメンバー表は試合開始 20 分前までにオフィシャルへ提出すること。
成年の部 A pool 優勝決定戦
練習 5 分、各ピリオド正味 15 分、1-2 ピリオド間インターバル 5 分、2-3 ピリオド間氷上整備とする。
第 3 ピリオド終了時同点の場合は、PSS(サドンデス方式)にて勝敗を決定する。

14. A pool 順位 :
- a. 勝ち点制とし、勝ち点の多いチームから順位づける。(勝ち点は勝ちチーム 3 点、引き分けには各 1 点を与える。)
 - b. 勝ち点が同一の場合、勝利数の多いチームを上位とする。
 - c. 勝ち点と勝利数が同一の場合は、対戦結果の勝ちチームを上位とする。
 - d. 対戦結果で順位がつかない場合は、総ペナルティータイム(1 試合当に換算)の少ないチームを上位とする。
 - e. 総ペナルティータイムが同一の場合は、総得失点差、総得点の順とする。

15. 全日本選手権(B)関東ブロック予選会(仮称)参加資格:
A pool 優勝チームには 2021 年に開催される全日本選手権(B)関東ブロック予選会(仮称)の参加資格を付与する。

16. オフィシャル : オフィシャル当番チームは、オフィシャルスコアキーピングとルールに精通した者でその任に当たり、責任持って終了させる。オフィシャル当番はスケート靴持参(4名以上)で試合開始 30 分前に集合し、準備を開始すること。オフィシャ

ル当番が遅刻・欠席・人数不足等によりその任務を履行できなかつたと大会役員により判断された場合、審議委員会において罰則を科す。罰則の範囲は不履行により再試合となつた場合、その費用負担から無期限の出場停止までとする。

また、試合終了後 10 分以内にゲームシートを完成させること。

17. レ フ ェ リ ー : 全ての試合についてレフェリーは 3 人制で行うことを原則とする。
18. スーパーバイザー :
 - a. ゲームを円滑に運営することを目的として、各ゲームに 1 名のスーパーバイザーを置く。
 - b. スーパーバイザーは、ゲームの運営に関し、会場関係者・レフェリー・オフィシャルと協調あるいは指示を出しその任に当たる。
 - c. スーパーバイザーは、大会役員から派遣する。
19. 試 合 中 の 傷 害 : 試合中に傷害を負つた選手は所定の用紙を持ってスーパーバイザーに届け出ること。
傷害に関するデータは医事委員会に報告され、用具やルール改善の基本資料として活用される。
試合中に傷害を負つた選手に対しては、所属チームが責任を持って対処すること。
また、スポーツ傷害保険は各チーム個別に任意で付保すること。
20. 懲 戒 委 員 会 : 委員長 柏木 満、
委 員 伊藤 一、内田 貴典、金子 精司、佐々木 晓
21. 登録・出場資格に関する問い合わせ先 :
伊藤 一 <アドレス:「info」の後ろに「@kihf.net」をつける>
22. そ の 他 : 要綱に記載されていない不測の事態が発生した場合は、競技委員会にて別途協議をする。

以 上